

勝負の2学期がスタート

猛暑の続く中、沖縄尚学甲子園優勝・ジャングリア開業など、「これぞ夏休み」といったイベントが一段落を迎え、生徒の皆さんは2学期の良いスタートが切れましたか？ 特に1年生にとっては1学期に初めての中学校での成績・仮評価が知らされ、自分の評定にどんな気持ちになったのでしょうか。「よし、この調子で頑張るぞ」と思った人、「2学期こそはもっと良い成績にしてみせるぞ」と思った人、どちらの人も「今自分自身に何が必要か」ということをよく考えて2学期の学習に取り組んでほしいと思います。

ここで、1学期の生徒の様子を見てきた先生方に三者面談等における意見などをもとに、力が伸びている生徒の学習と逆に伸び悩んでいる生徒の学習の様子を伺い、以下にまとめてみました。

①このような生徒が伸びている！！

- ・言われたことを素直に聞いて実行する。 ・先生のところに進んで質問に来る。
- ・分からない問題をあきらめず、10分以上考えられる。
- ・家庭での自主的な学習などを繰り返し、できるまでやっている。
- ・安易に答えだけを求めようとしない。課題の取組が丁寧である。
- ・授業中に理解しようと意識していて、授業の前後も落ち着いている。
- ・家庭での学習が習慣化しており、提出物をしっかり出す。
- ・睡眠をしっかりとり、規則正しい生活を送っている。



②このような生徒が伸び悩んでいる②

- ・提出物が出てないときがあり、期限を守れない。
- ・問題プリントに空欄が目立つ。答え合わせもできていないなど中途半端である。
- ・すぐに考えることをあきらめ、答えを写している。
- ・「塾にいつているから」と言って、学校の勉強をおろそかにする。
- ・ゲーム、インターネット、スマホの時間が長い。または友人関係のトラブルがある。
- ・話をしっかり聞いていないことがよくある。
- ・自分の意思で行動することができない。 ・「自分は〇〇が苦手だから」と自分を決めつけている。



あなたは、どの項目に当てはまりましたか？

①の特徴は、結果がでるようにしっかり考え、改善し、丁寧な自分の学習が習慣化している姿です。素直に取り組んでいけば良い結果が出てくるので、ますますやる気はアップします。

②の特徴は、勉強の目的や意味をあまり考えていない行動といえます。「面倒だな」「やりたくないな」と逃げの姿勢にならず、「できた！」という喜びを味わうために、日々の授業及び家庭での学習に真剣に取り組んで下さい。まず、勉強とは「分からないことをできるようにすること」です。このことをしっかりと心にとめて、長い2学期乗り越えていきましょう。

令和7年度全国学力・学習状況調査 結果(3年生)

	国語 平均正答率(%)	数学 平均正答率(%)	理科 平均IRTスコア
南風原中学校	50.0	41.0	483
沖縄県(公立)	49.0	38.0	465
全国(公立)	54.3	48.3	503

※IRTスコアは、全国学力学習状況調査の問題の正誤パターンから各児童生徒の学力レベルを推定した数値。

500を平均値とする尺度で表され、高い数値ほど学力が高いことを意味します。